



種彦
團圓
合

あふ

初見
下

あ

水務

中込

兼川

中

あ

あ

あ

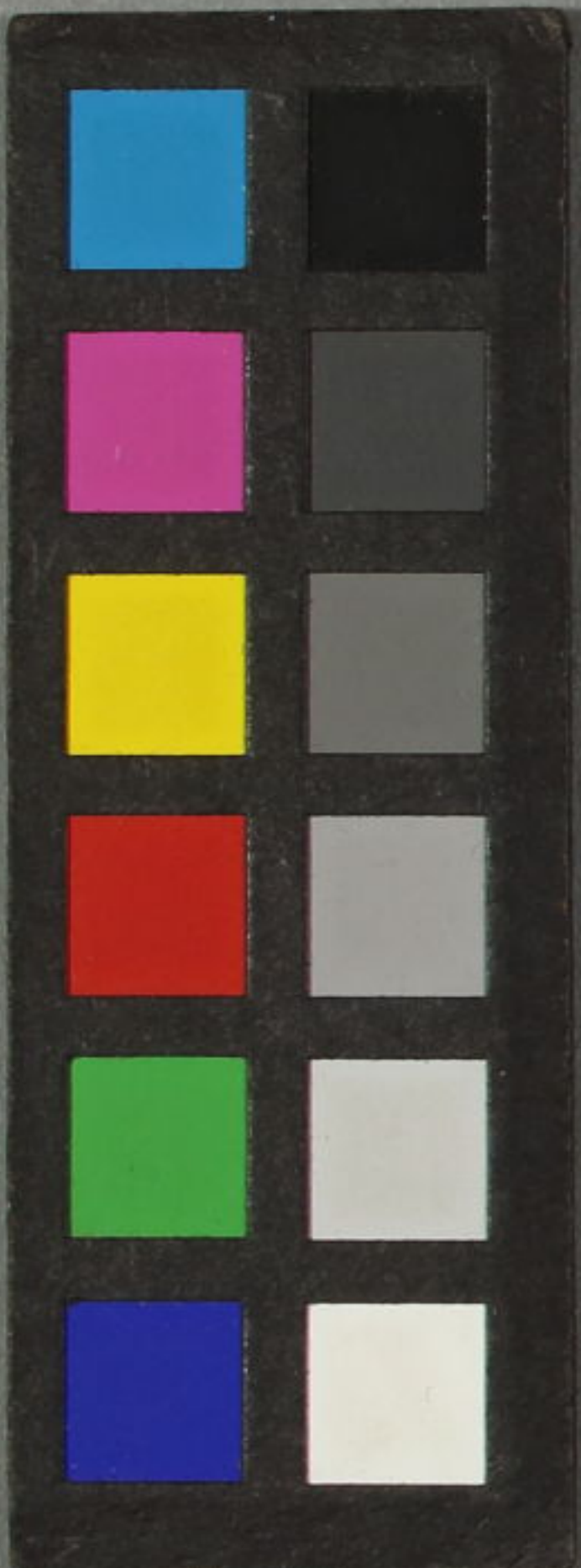
あ

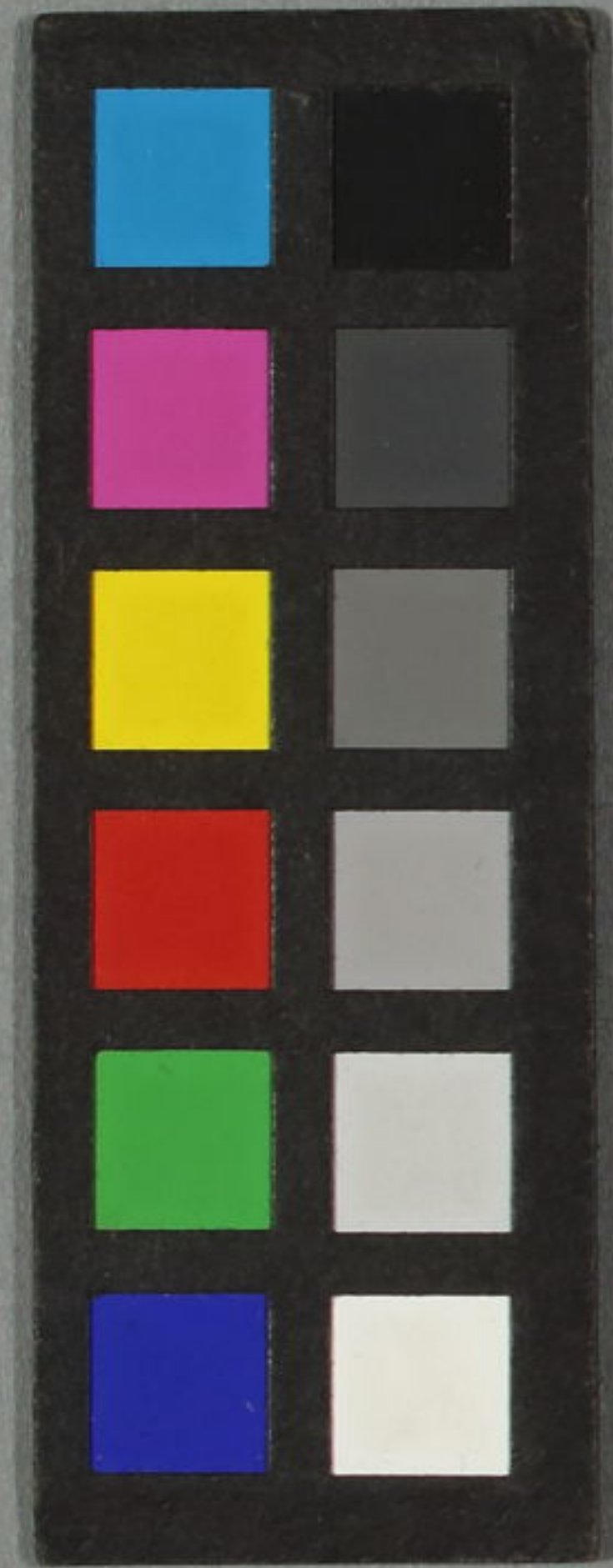
あ

初篇
上

~13
4050
2

~13
4050
1







新水亭

梅鉢樓國名

梓元

紅英堂

細

梅鉢

燗

新

葉

桐

初篇

上

五七

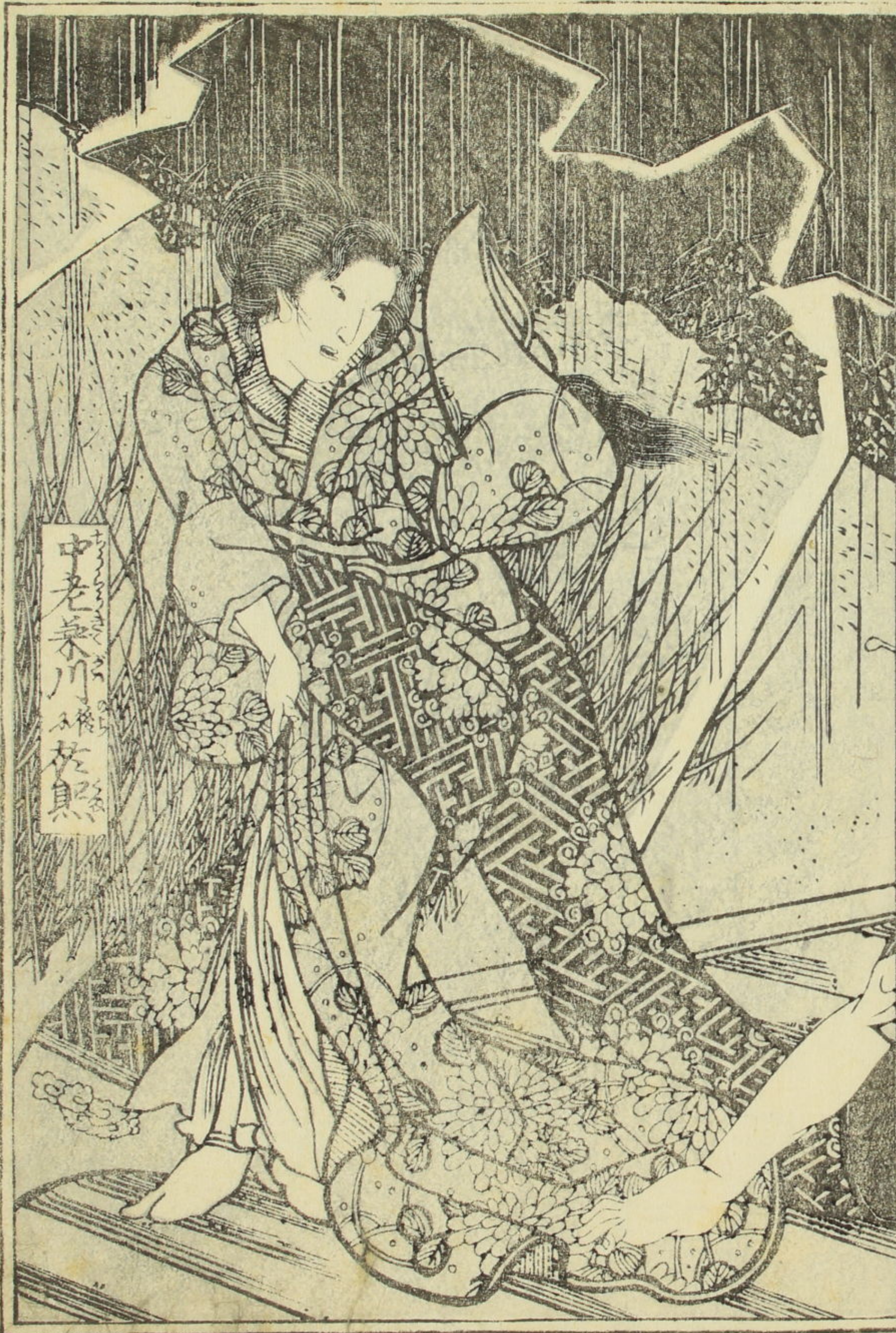
壹

卅

御看宿の心好お又探進の五月の夜を夜等お
 所家世徳徳令や狂言の無敵氣が構籠と海渡
 方綱らの七太郎水死の恨深川おまの幽霊も初
 秋や物吉ふふお似の西夏を想てる青龍共千成
 お国ある小橋の七が舟のるお矢刺の橋の夜二
 可彼百字屋の右をるぬ曲輪縣お新屋お箱木
 就多お玉葉の進者たる娘お揚たる狂師河村が
 劇場構と所お序と及柳水亭撞法述

因書美の

雨夜



中老兼川 於真

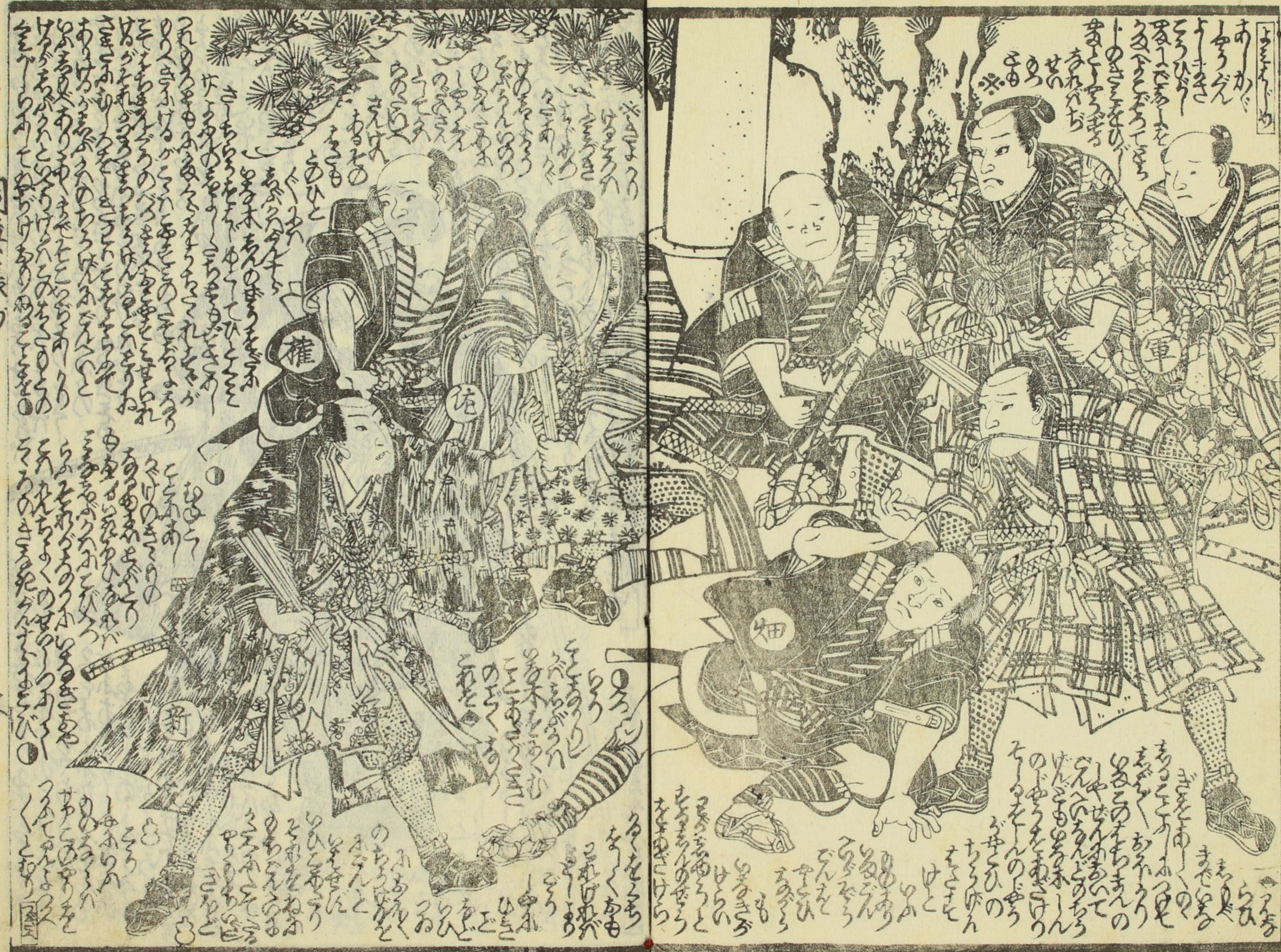
雨夜



於坊吉三
極女於松

袖

小後七之助



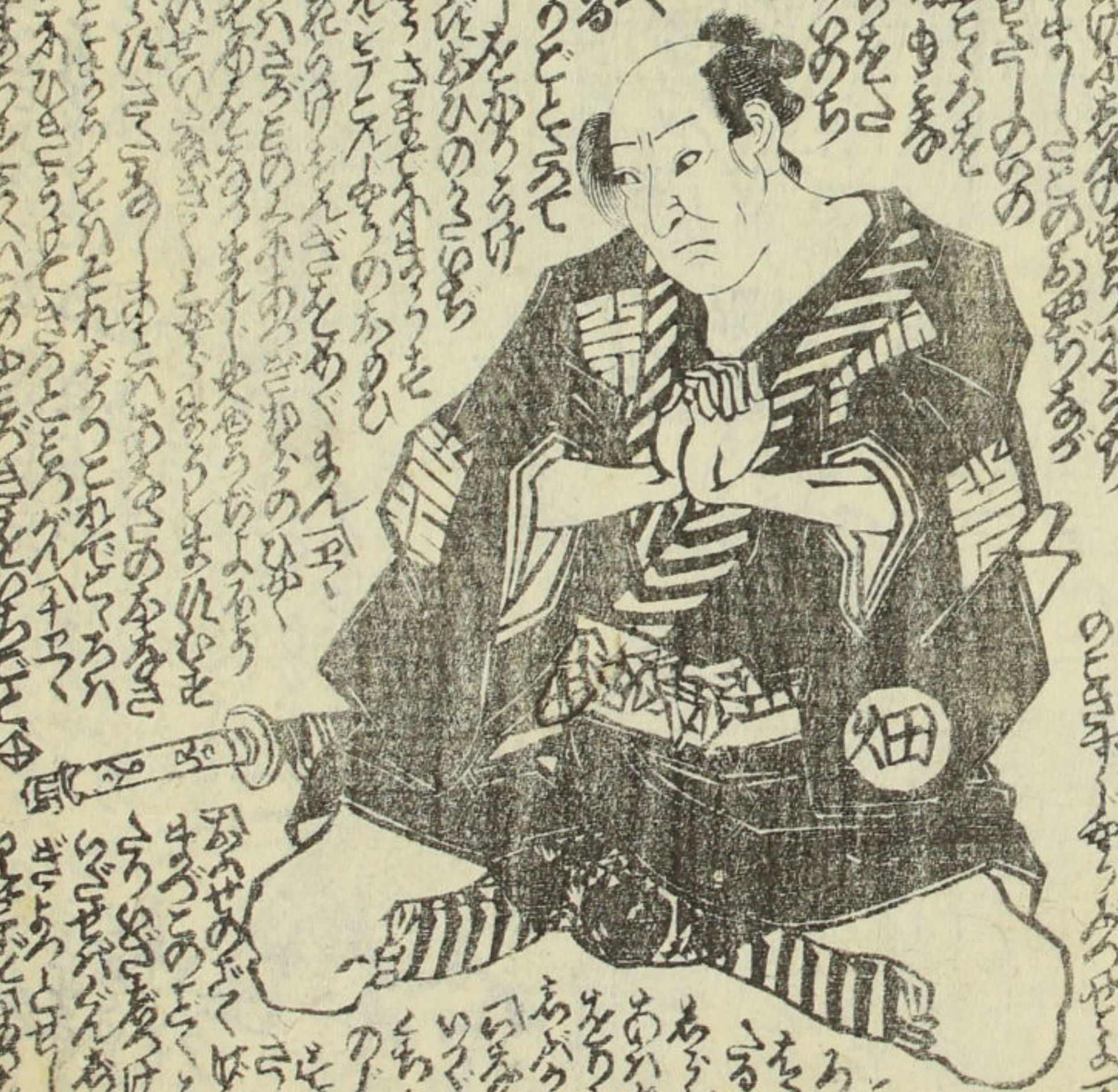
新出 徳兵衛

此の徳兵衛は、江戸の大名に仕え、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。



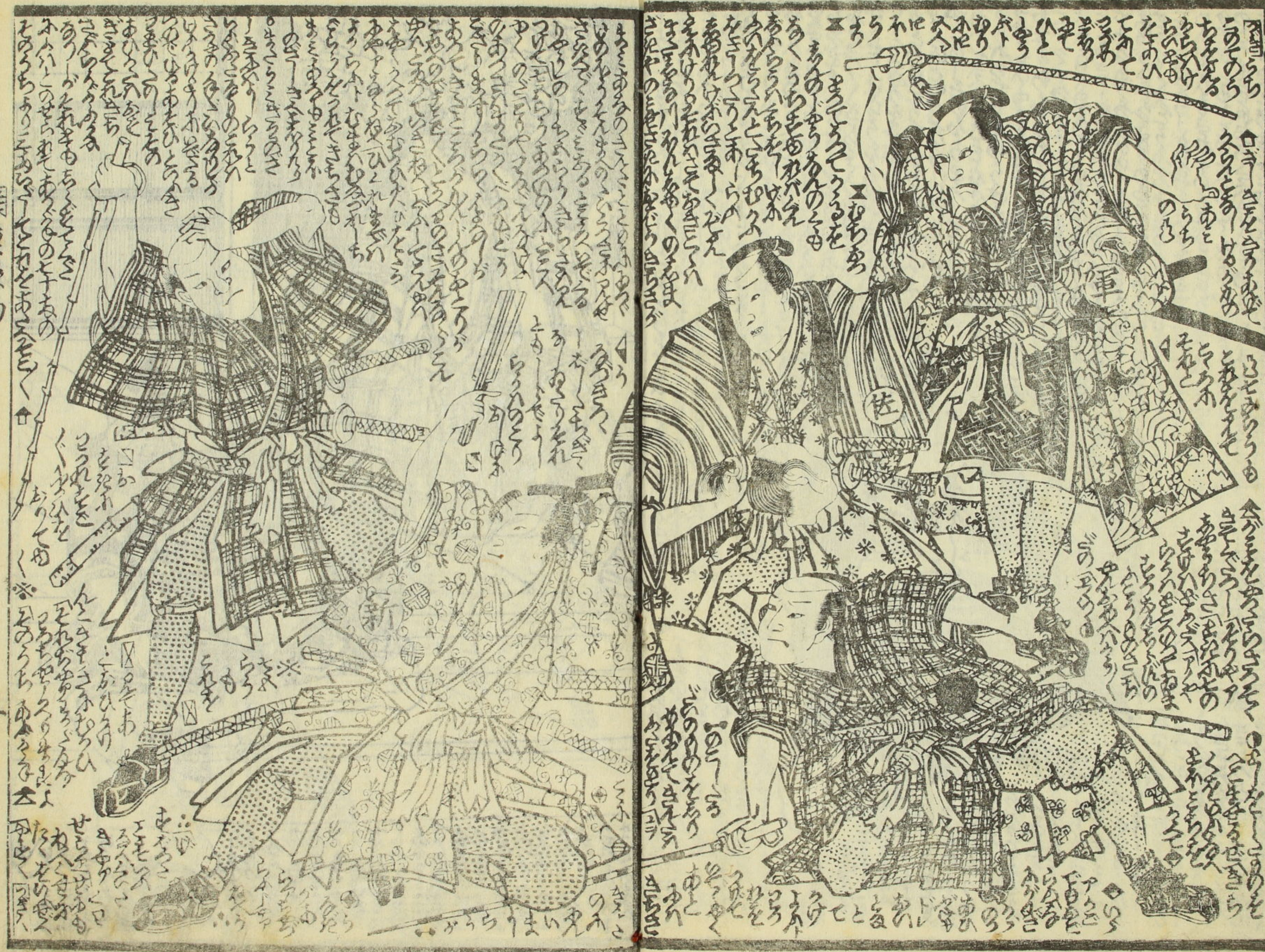
此の徳兵衛は、江戸の大名に仕え、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。

此の徳兵衛は、江戸の大名に仕え、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。



此の徳兵衛は、江戸の大名に仕え、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。其の徳兵衛は、其の才力により、その大名の御用を司る者なり。

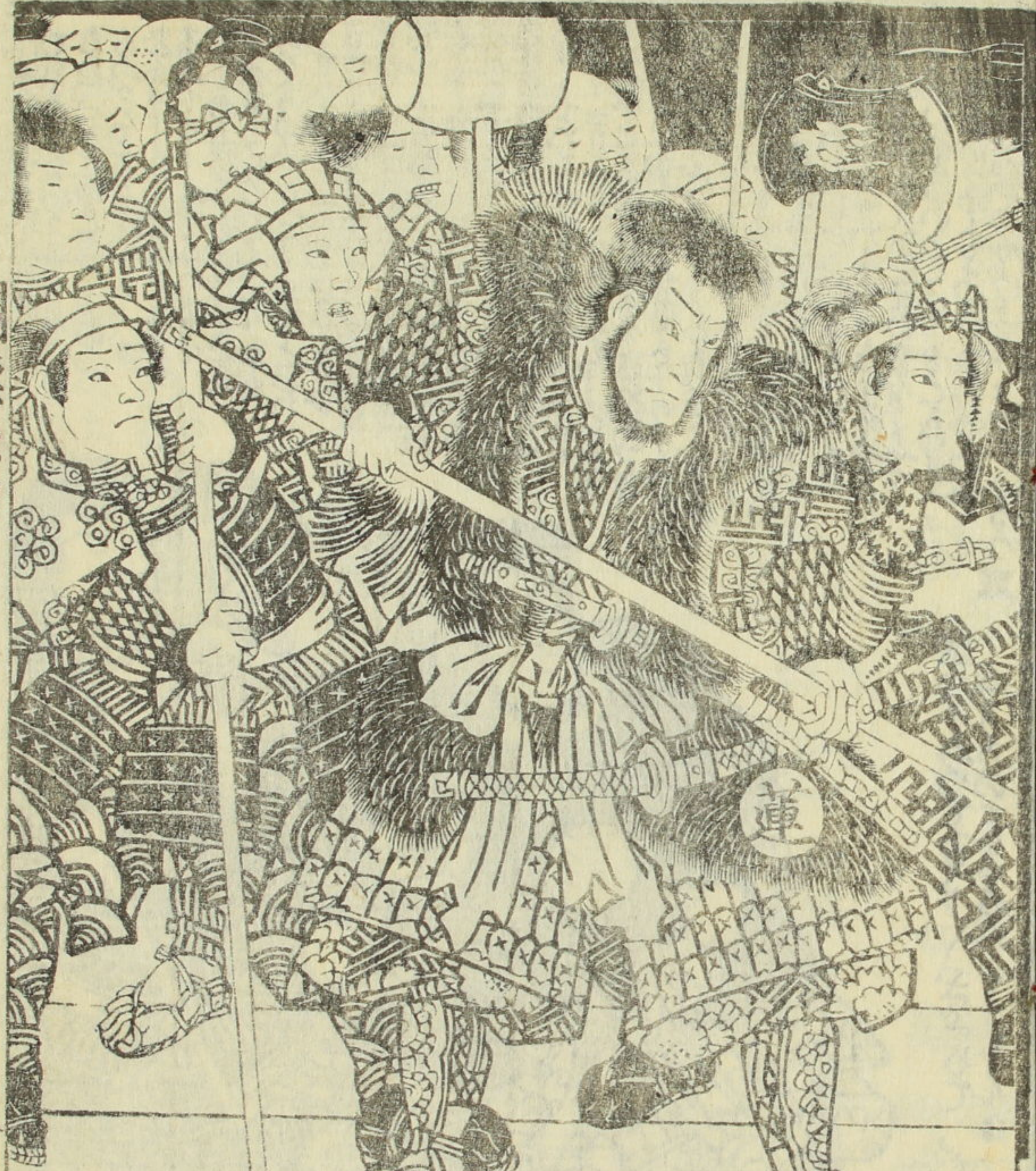
徳兵衛



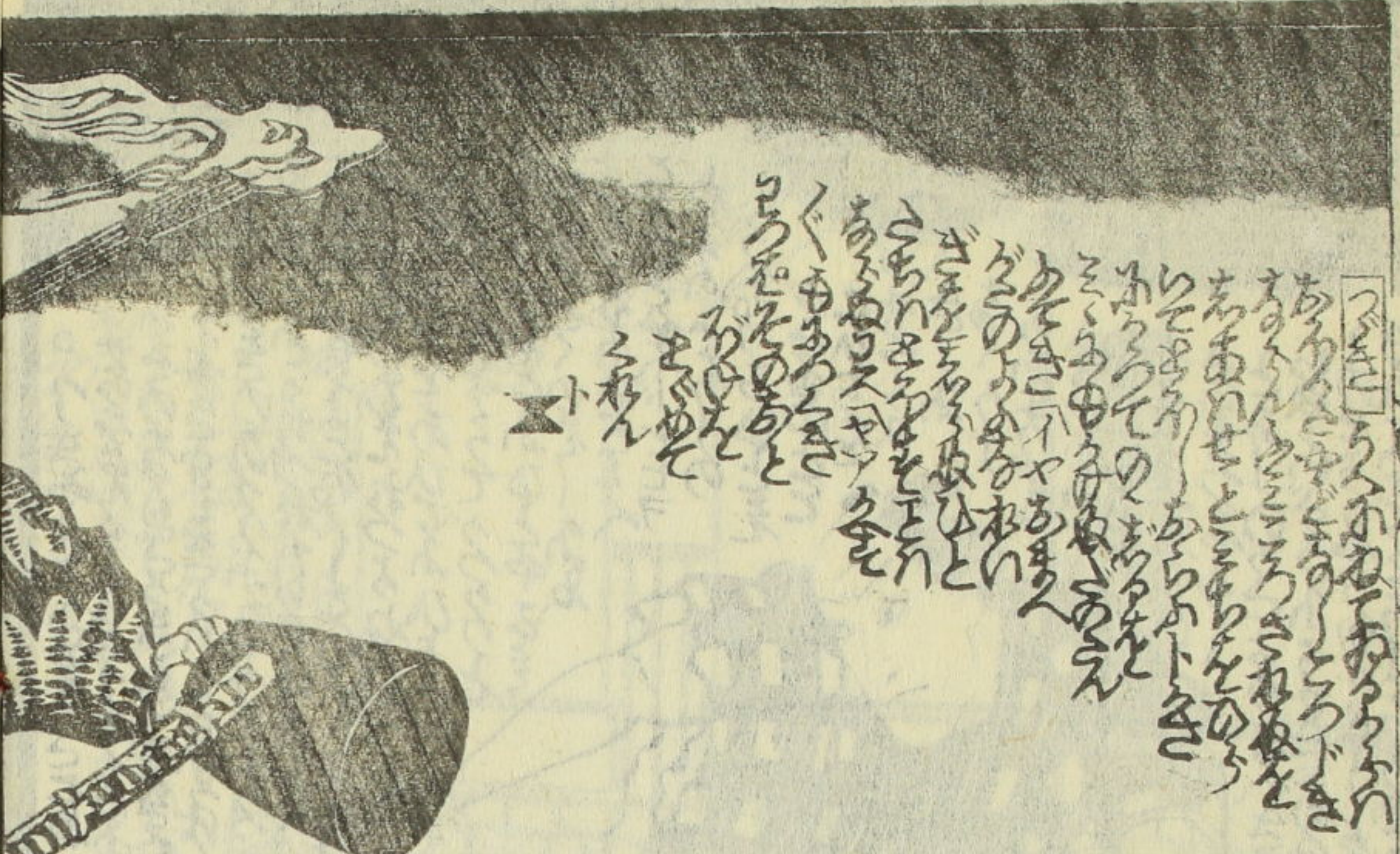
細横様

五

四



蓮
 この...の...の...
 ...
 ...
 ...
 ...



...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



...
 ...
 ...
 ...
 ...

つぎまぢりかかひの
でんおのまのうすまらそ
おんこころあともてま
らめこそあてあらひの
おまひんけんををを
まてでらふまてのめこ
ちのあつたをさうま
りかまのうすまらそ
あまらめこころまらそ
つせんおんあぢきんを
おんあぢきんをさうま
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを
せんおんあぢきんを



あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま
あつたをさうま

午春新版標目

孝子の志度六
兒子ハ魔度六

童謡妙々車

柳下亭種員作
梅蝶樓國貞画

薄倂まがら日記

初編 二編 鳥
三編 出版 梅蝶樓國貞画
永春水作

夜附茶番雛形

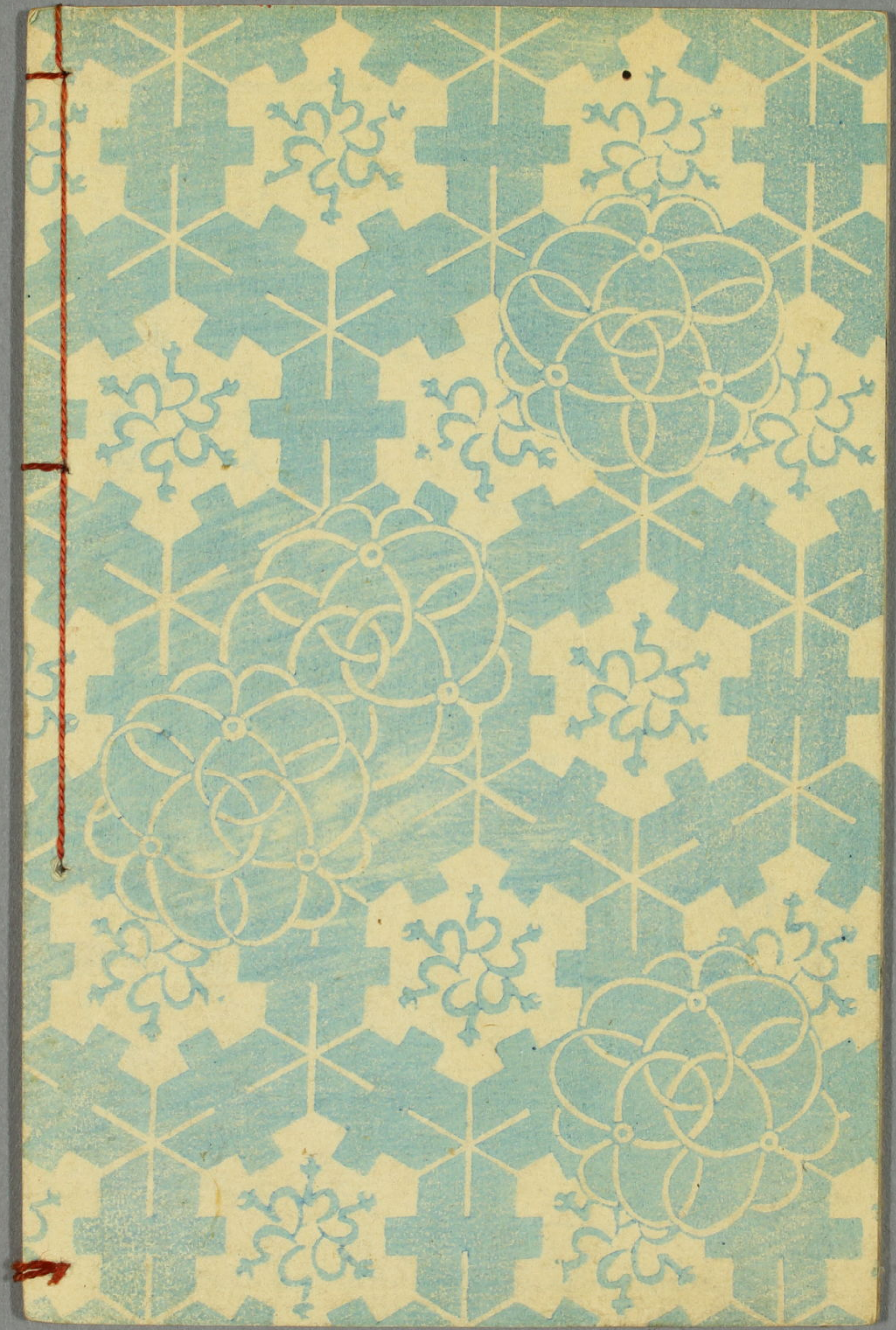
春馬輯同 画

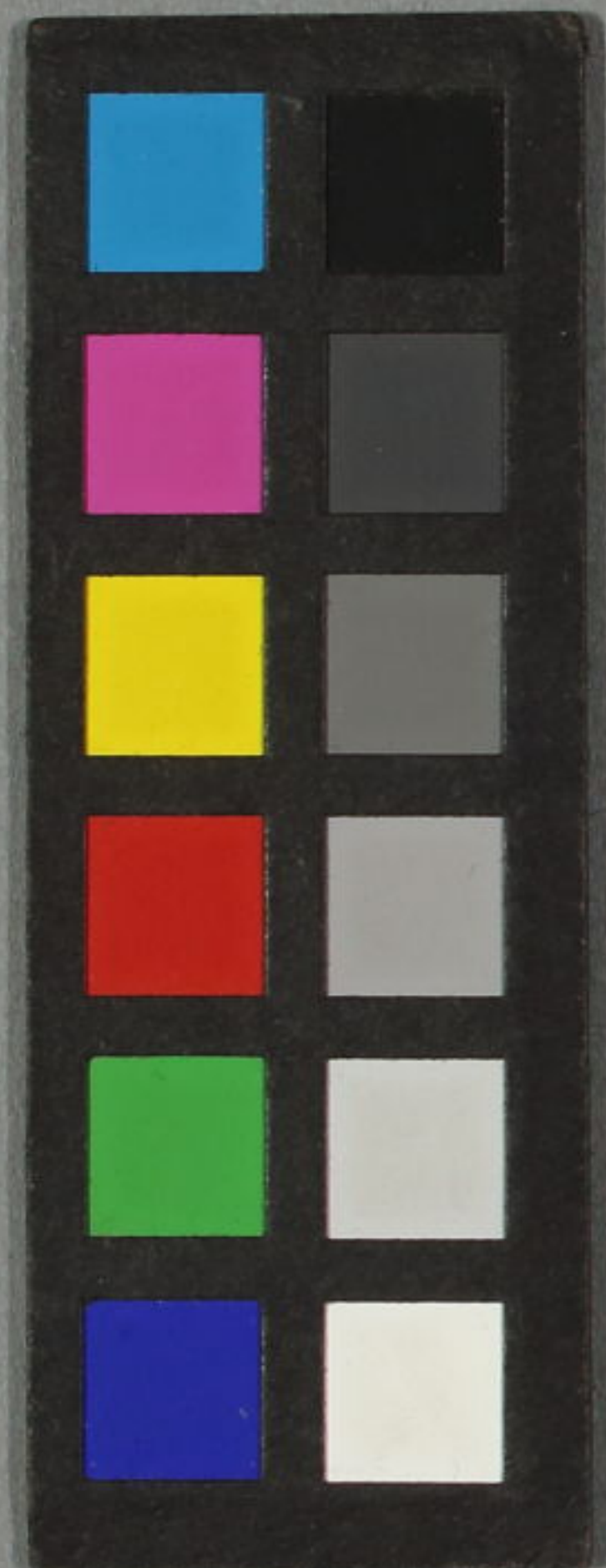
實母散
えんせんさんご婦人ちのちら一切の妙茶

千葉堂孝輔制衣

御用薬所 信州上田東山堂製衣
せんまの妙茶

色八銅
色四銅

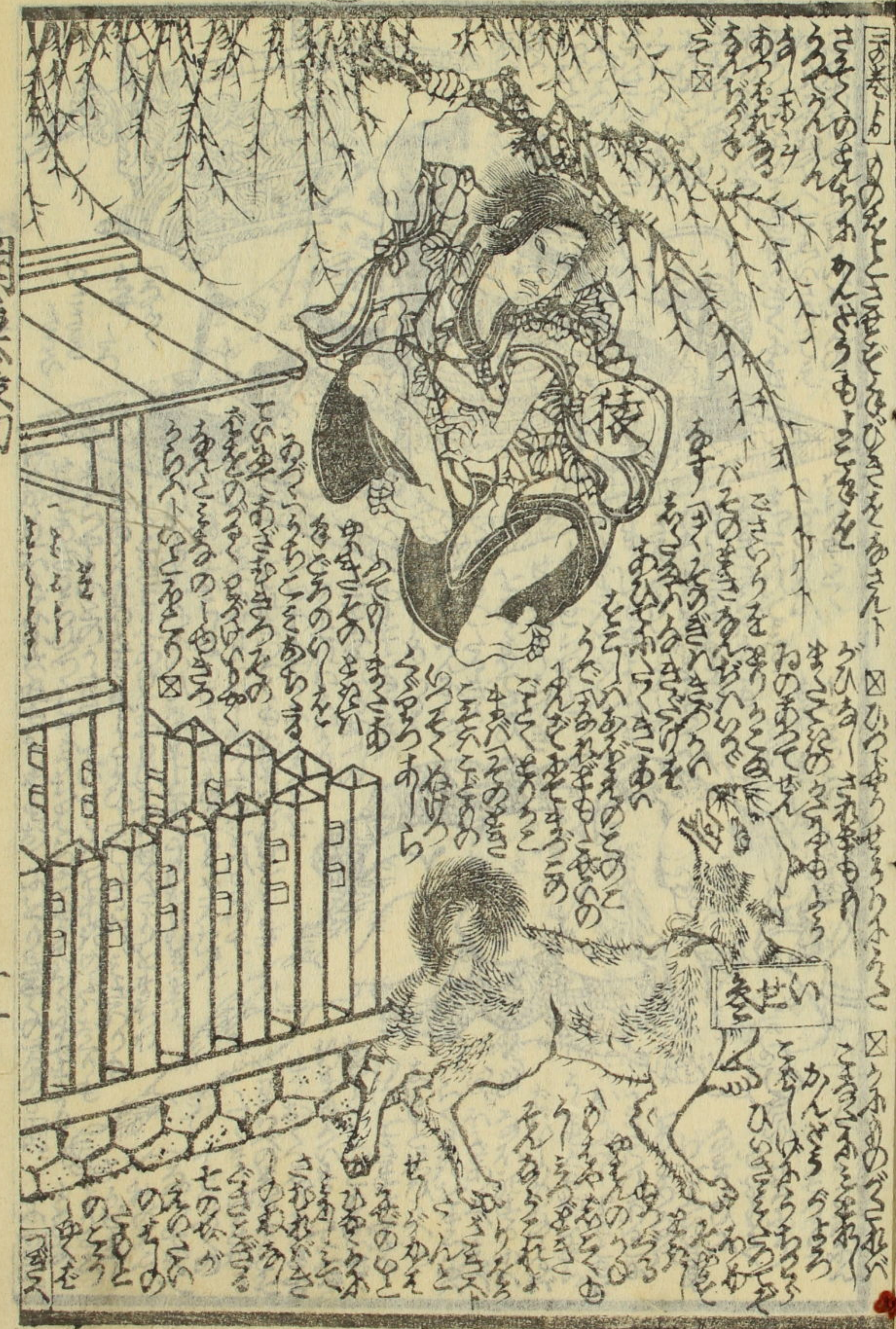




^13
4050
2



ハ13
4050
2



長巻

一



何とぞやう

巾着巻

柳中子種さくら

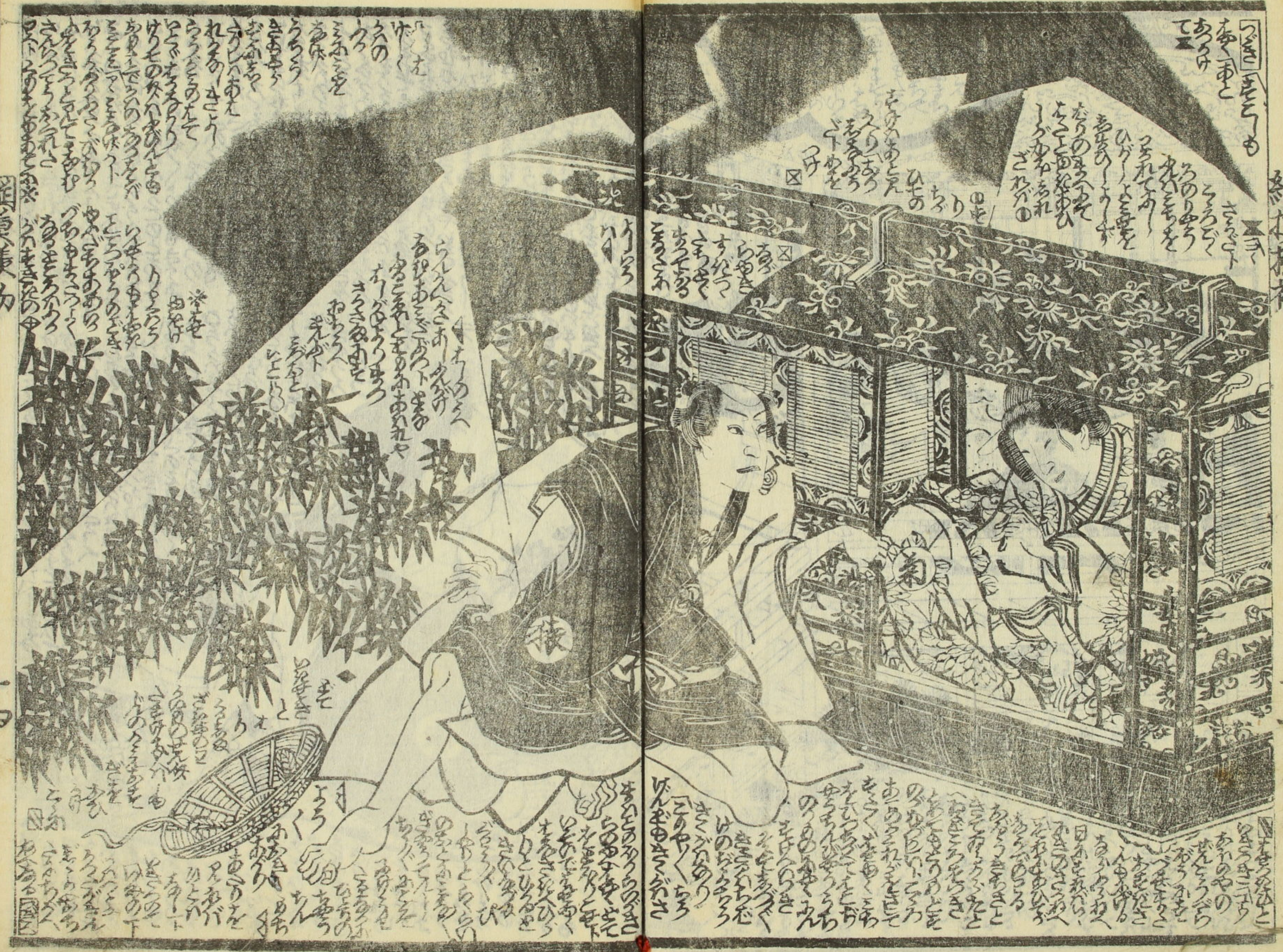
物つ小機園

おんいせ

柳村様

はぐりて何をも

あぐり



新撰

あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て

あつち
て

あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て

あつち
て
あつち
て



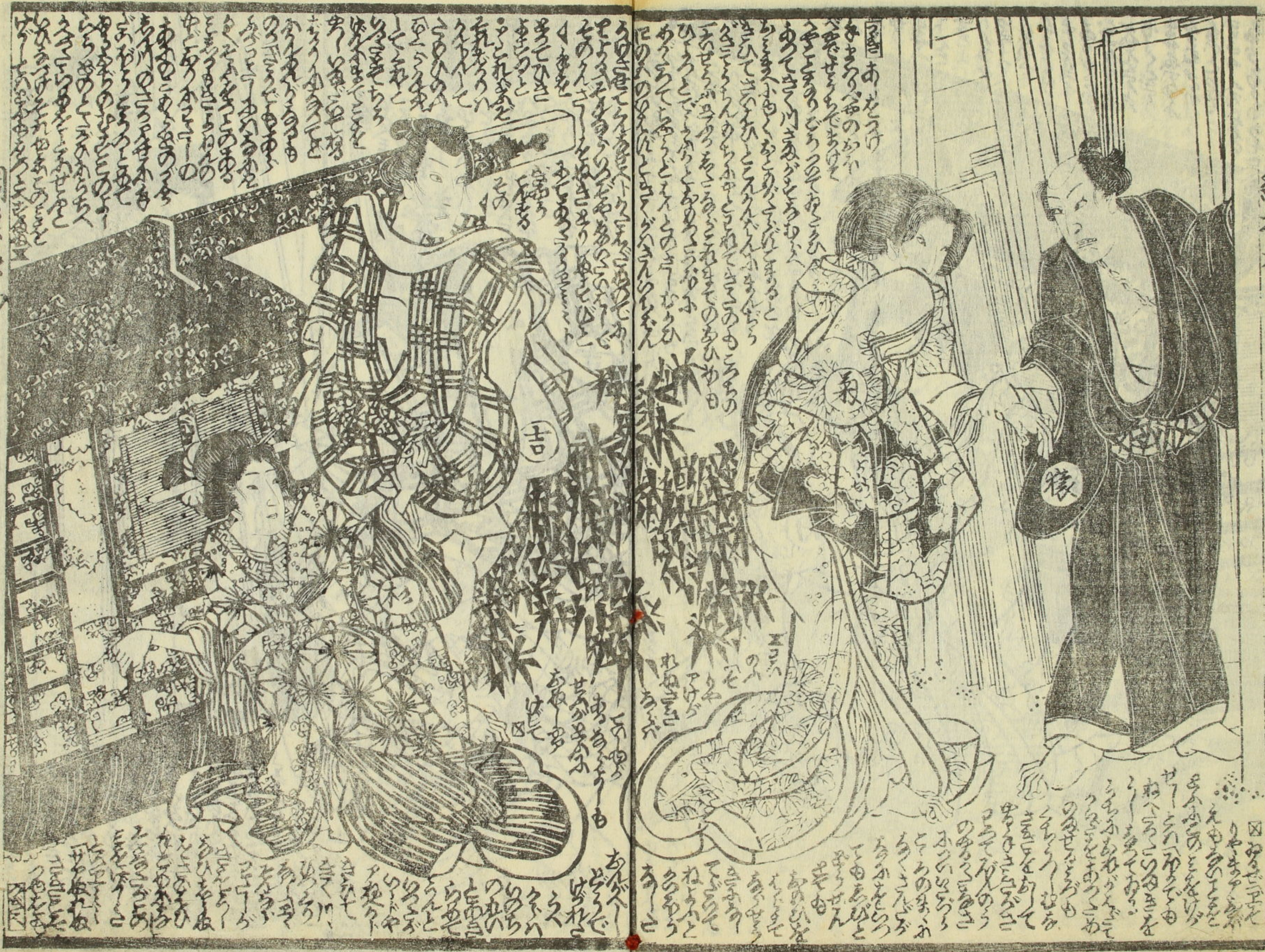
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...

あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...



あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...

あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...
あまのさかき...



細き木

細き木

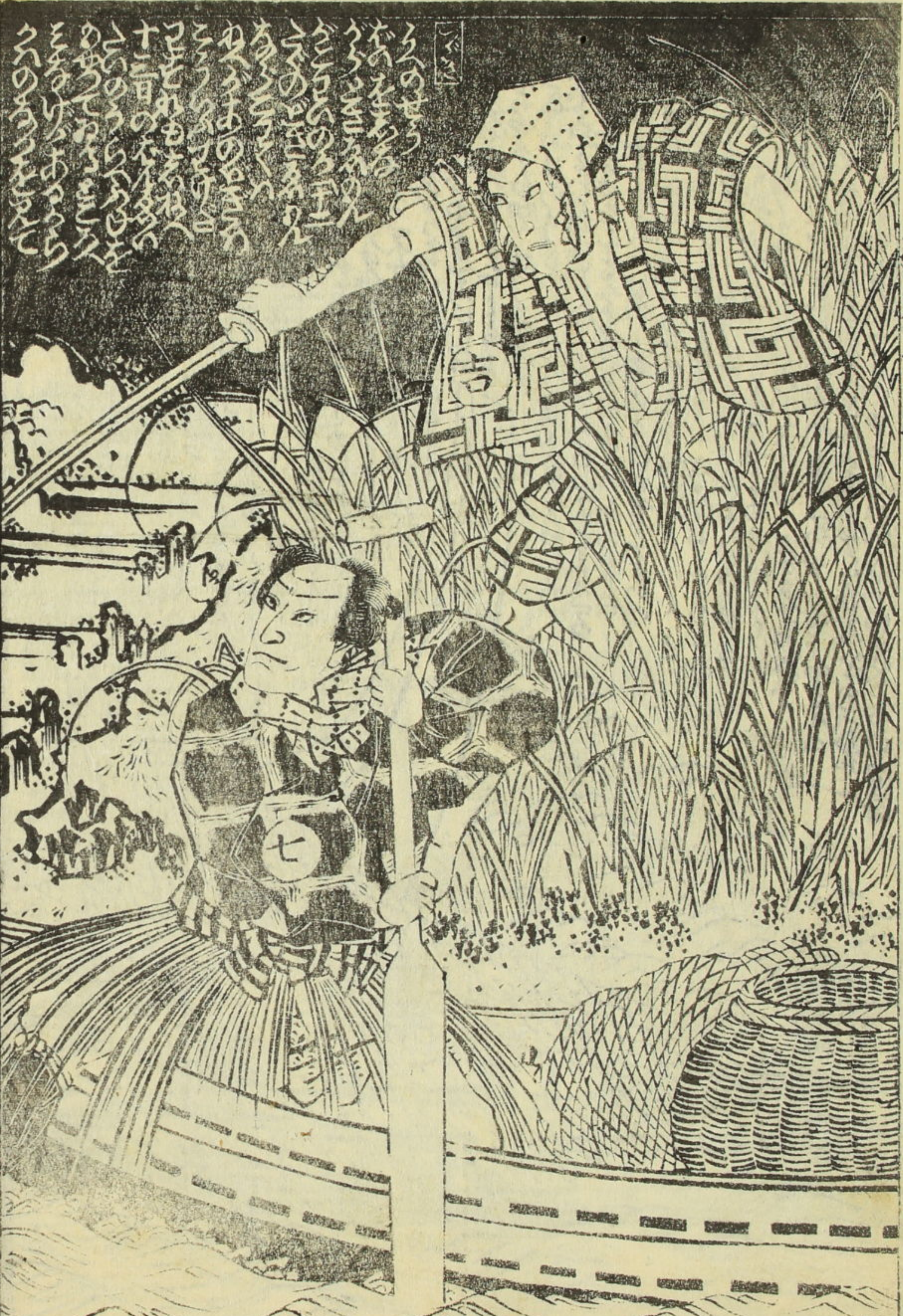


あつちのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち



五十年
七月
廿二日
江戸
川崎

あつちのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち
うらやまのちのちのち



江戸
川崎

柳水亭種清綴合梅蝶樓國貞圖画



大晦日曙草紙 廿四編 京山作
廿五編 國貞画

正成誠忠録全 春馬譯
國郷画

八大傳大の神紙 廿九編 仙果録
卅一編 國貞画

新田足利龍虎録全 同譯
國明画

仇櫻戀白浪 三編 春馬作
四編 國貞画

歳徳曾我松嶋基 三編 種清綴
讀切 國貞画

新當織帯屋綴合 四編 西馬綴
五編 同画

鼠小紋東居新形 三編 同綴
讀切 同画

歌討噂古市 三編 種清作
讀切 同画

入躰倭取揖 三編 同綴
讀切 同画

頼朝青雲録全 春馬譯
國周画

地本問屋為屋古蔵梓 南傳事壹町日京例
兼紙

